

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2016年9月30日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

国の責任で、医療・介護を充実させよう！

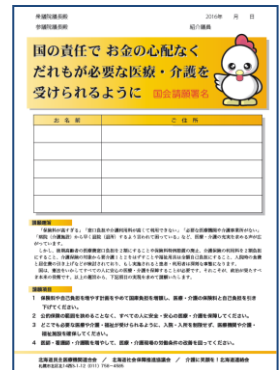
宣伝、署名広げましょう 各団体で取り組み広がる

安倍政権は、来年の通常国会に向けて、医療や介護などを改悪するため法案や予算案を検討しています。現在行われている社会保障審議会には、患者さんや利用者、住民や自治体に負担を押しつける「改革案」が提案されていますが、多くの団体の代表から反対の声が出されています。

法案や予算案が決まる前の運動が決め手！

法案や予算案が決まる前に、改悪をやめさせる運動が必要です。改悪の内容やその影響を学び、多くの人に伝え、制度の改悪ではなく、国の責任で、医療や介護を充実させる世論と運動を広げましょう。

各団体でも、学習や宣伝、署名活動が広がっています。北海道社保協などでは、署名用紙（右図）と改革の影響を示すチラシを作りました。ご活用ください。



新婦人 社会保障の拡充などを求めて、「秋の行動」スタート行動



新日本婦人の会北海道本部は、9月30日、札幌大通公園で、「戦争法廃止、社会保障や教育の充実、くらしの向上などを求める「秋の行動」のスタート行動を行い、約30人が参加しました。

各会員から医療や介護などの深刻な実態や切実な要求、改善を求めるスピーチがおこなわれ、署名に取り組みました。「困っていること、腹がたつこと」をテーマにシール投票も行われました。

ストップ医療改悪 安心して受けられる医療の実現を 医師・歯科医師が訴え

9月10日には、北海道保険医会が、大通公園で、だれもが安心して受けられる医療の実現をめざして宣伝を行いました。医師や歯科医師が、次々にマイクを握り道行く市民にアピールし、テッシュ付きのチラシを渡し「ストップ医療改悪」への取り組みへの協力を呼びかけました。

「安倍政権は、参議院選挙までは封印していた医療制度改革の具体化をすすめています。目的は、できるだけ患者さんも経済的負担を増やして受診を抑制するもので、国民の生活や健康に重大な影響を及ぶ計画です」と、70歳以上の高額療養費の負担限度額の引き上げや75歳以上の2割負担、受診時定額負担制度、かぜ薬などの保険ははずしの内容を説明、「今でも医療費が高くて必要な医療が受けられない」など国民の不安や怒りは広がっていることも紹介し制度改善の必要性を訴えました。



11月26日 国の責任で、医療と介護の充実を求める北海道集会

とき 14時～16時

ところ ニューオータニイン札幌（中央区北2西1）